

心肺蘇生 一連の流れ

【新型コロナウイルス感染症拡大に伴う傷病者対応】



救急隊に引き継ぐまで心肺蘇生を続けましょう

◆救急隊に引き継いだあとは、速やかに石鹸と流水で手と顔を十分に洗う。
傷病者の鼻と口にかぶせたハンカチやタオル等は、直接触れないようにして廃棄するのが望ましい

【概要】

1. 基本的な考え方

- ・新型コロナウイルス感染症が流行している状況ではすべての心肺停止の傷病者に感染の疑いがあるとして対応

- ・成人の心停止については人工呼吸は行わず胸骨圧迫と AED を実施

- ・子どもの心停止については講習をうけて技術があり意思があれば人工呼吸を実施

2. 新型コロナウイルス感染症の疑いの傷病者への救急蘇生法の具体的手順

救急蘇生法の指針 2015（市民用）

1) 周囲の安全確認 2) 反応の確認 3) 応援の依頼 4) 呼吸の観察 5) 胸骨圧迫 6) 胸骨圧迫

30 回と人工呼吸の組み合わせ

- ・ 反応の確認や呼吸の観察時には傷病者の顔があまり近づきすぎないようにする

- ・ 胸骨圧迫の開始の前に傷病者の鼻と口にハンカチ・タオル・マスク・衣服などでかぶせる

- ・ 成人に対しては人工呼吸の技術があっても人工呼吸は実施しない。子どもに対しては講習をうけて技術があり意思があれば人工呼吸を実施